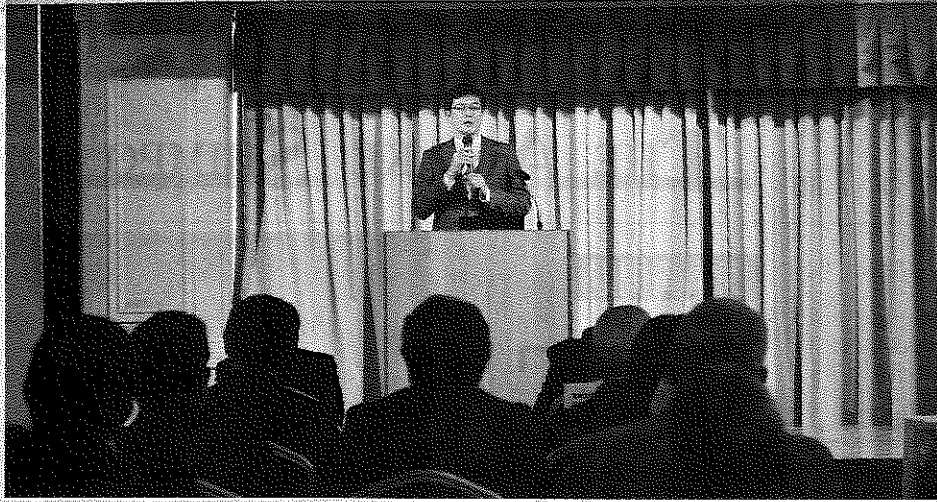


2018年2月12日(月)

有明新報 2面

第15回おおむた産学官連環交流会

主催：産学官連環交流会実行委員会



塚田さんの基調講演があった連環交流会

発想と挑戦が鍵に

産学官連環交流会へ110人

大牟田

第15回おおむた産学官連環交流会が9日、大牟田市旭町のホテルニューグアイア・オームタワーで開かれ、約110人が参加。伝統技術を活用して新規事業に挑戦した株式会社ツカタ代表取締役、塚田浩生さんによる基調講演のほか、学術機関などの事例発表があり、産学官連携の重要性を再認識した。実行委員会主催、市産業活性化推進協議会、市環境リサイクル産業振興協議会共催。

初めに塚田さんが「発想と挑戦が切り拓く未来への鍵」を演題に基調講演。刃物産業のまちである岐阜県関市で、父親が設立したプレス加工工場を引き継いだ塚田さんが、厳しい経営環境に悩みながらも新商品を開発・販売するまでの道のりを振り返った。キーホルダーに携行できる鍵型便利ツール「キークエスト」、金属製の極薄名刺入れ「キーブスマート」をプレス加工の技術を生かして製作。クラウドファンディングを活用して、自社製品をPRした経験を伝え

た。続いて福岡大学工学部社会デザイン工学科交通・都市システム研究室助教の吉城秀治さん、有明工業高等学校富附講座特命助教の野口卓朗さん、帝京大学福岡医療技術学部作業療法学科准教授の轟木健市さんが事例発表。県、市、商工会議所の支援制度の説明なども行われた。

(河野 美緒)